

平成三十年 年頭挨拶

代表取締役社長 田中秀司

新年あけましておめでとうございます。昨年六月に代表取締役社長に就任いたしまして早いもので半年が過ぎました。こうして皆さんと新しい年を迎えることができうれしく思います。

昨年の当社は、「スポーツ二店舗オープン」と、「ショップの新店オープン」、「リユースアル等、多くの進展がありました。さらにはTOKYO様より、「首都圏」、「加盟店」との表彰を頂く事もでき、また一段と進化した一年でした。

日々精進して頂いている皆様のお力が、このような結果を実現しています。素晴らしい事です。

ダーウィンは「進化論」で「生き残るのは、強いものでも、賢いものでなく、変化できるものである」と言っています。これは企業でもいえることで、社会の中でいかに周囲に目を向けられるかということが求められ、積極的に変化していくことが会社を「継続する」という最も大切なことにつながります。日本では、創業二百年を超える企業は、約二万六千社あります。世界単位で見ても創業二百年を超える会社の四十五%が、日本に存在しています。創業千四

百年という世界最古の会社も日本です。何故、こんなにも長い期間、経営ができるのでしょうか。それは、「三方良し」の商売の基本が根底にあるからです。

商売は、「売り手」「買い手」「世間」のそれぞれにとつて良くなるように商いをしていきなさい」という考え方です。当社においてあてはめると、「エンドユーダー」「社員」「キャリア」「地域社会」「当社」それぞれの立場から、日本一と認知される組織を目指す事です。

この「三方良し」を唱えた近江商人は、十の教えがありその二目には、「商売は世のため、人のために奉仕して、利益はその当然の報酬なり」と教えていました。自分の利益だけを…と言うような考えは、ダーウィンの理論から言っても「自己の種の存続だけを考える」ということになり絶えてしまふでしょう。百年を超える企業の共通点は、自社の理念に必ず社会貢献・地域貢献に関するものがあるそうです。

代理店間の競争の激しい今の時代を勝ち抜き、すべてのステークホルダーにとって日本一の組織を、引き続き目指して参りましょう。そして、私たちが創りだす「ケータイショップの理想的な姿」を、日本中に広めていきましょう。さらには、店舗網を含めた日本の通信インフラや、通信インフラにおける店舗サービスの在り方が、世界の模範となるようにしていくのです。

正しさと強さを常に追求し続け、田中電子を中心としたTOKYOグループを、日本一、そして1百年企業とする為に、引き続き精進して参りましょう！本年も宜しくお願ひ致します。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新社長が就任して会社自体が大きく変化した一年であります。会社にとって事業承継は大変難しく「企業理念、企業風土」を受け継ぐことができるかできないかで会社の将来を左右してしまうほどのものです。当社は、綿密な計画のもとこの事業承継は順調に進み大きな飛躍への第一歩となりました。

「伝えるべきものは伝え、変えるべきものは変える」ことの重要性を認識してからこそ成しえたものです。

今後、内外問わず色々な変化があり、それらに対応していくなくてはなりません。そのためには皆さんひとりひとりの力を一致団結することが必要です。社長をはじめ社員全員で日本一の携帯電販売代理店を目指します。

皆さん、新年明けましておめでとうございます。新たな気持ちで一年が始まります。皆さんのがそれの夢に向かって邁進しませう！

ある名言に「夢のある者には希望がある：希望のある者には目標がある：目標のある者には計画がある：計画のある者には行動がある：行動のある者には実績がある：実績のある者には反省がある：反省のある者には進歩がある：進歩のある者には夢がある」というものがあります。夢をもつことで自分の生き方が変わります。だから自分の可能性を信じて行動しましょう！幸いにも皆さんは、田中電子に入社したということで後押ししてくれる環境があります、つまりツイっているのです。このチャンスを活かすために心身とも健康であることが大切であり、それが心を育てることにもつながります。

取締役会長 田中隆司

専務取締役 富樫和行

七年
社員大会
大盛況！

今年の最後の大イベント、田中電子恒例「社員大会兼忘年会」も無事に終了しました。

十二月五日火　ユーカリが丘のウイシユトンホテルの五階で午後八時より開催となりました。百三十名の大宴会の始まりです。専務の乾杯があり社長挨拶と今年年間の皆さんへの労をねぎらい、来年も飛躍の年にするべく社員全員が一致団結して臨むことを誓いあいました。

今回の社員大会では初めての試みがありました。日頃、店舗のイベントなどにも登場して人気のあるマジシャン「マホロバさん」が田中電子のためにマジックを披露していただきました。時間が許せば大イリュージョンでも見せていただきかったのですが、とてもタイトなスケジュールだったため舞台でのマジックをひとつとテーブルでの簡単なマジックをしていただけきました。舞台で協力していただいたのは、北習志野の今井くんです。マジックの内容は、今井くんとマホロバさんと司会の岸中さんの3人がそれぞれ水の入った紙コップを頭の上にのせて一斉に音楽に合わせて時計回りに1回転、反時計回りに1回転します。回転しているときに今井くんに気づかれないように岸中さんとマホロバさんはコップの中の水を飲んでしまいます。二回転した後、岸中さんがコップを逆さまにすると水が消えました。次にマホロバさんがコップを逆さまにします。やはり水は消えて無くなっていました。あたりまです。最後に今井くんの番です。誰もが今井くんは、水を飲んでいないので頭から水をかぶると思っていましたが、あら不思議コップを逆さまにしても水は消えていたというマジックでした。このマジックショーは、斬新な企画だったのではないでしょうか。みんなも楽しめました



あり・・・
二十年勤続の志賀さんが、一次会を一本締めでしめていただきました。二時間半という時間もあつという間に過ぎ去りました。・・・
また、来年も楽しい社員大会兼忘年会にしよう！



勤続10年の皆さん、左から濁川さん（印西）菅澤さん（潮来）新見さん（勝田）佐藤翔史さん（マネージャー）小手さん（新鎌）尾高さん（モジア）佐山さん（本店）の7名です

ミニゲームは、今回 大綱引き大会」です。八チームのトーナメント形式で優勝を決めます。以前は、第二位、第三位まで決めて賞金がでましたがが今回は、優勝チームのみが賞金を獲得できます。金額も大きいでかなり真剣でしたね。応規定で二チーム男女それぞれ2名を選出するのですが、勝ち上がってきたチームには女性が少ない店舗もあり二回戦から決勝までフル出動した方もいました。影のMVPですね、翌日、身体は大丈夫だったでしょうか。優勝したチームは、新鎌ヶ谷・船橋三咲のチームでした、おめでとうございます。